



城東だより

発行

城東地区
まちづくり協議会
電 話 635-8041

印 刷 (株)井上総合印刷
電 話 661-4723

第32回 城東納涼フェスティバル

8月23日(土)

17:00 城東小校庭

催し物

- 17:00～ 開会宣言
- 17:05～ 城東龍の行進
- 17:15～ 城東小金管バンド演奏
- 17:45～ 城東小児童演技
- 18:20～ 軽音楽バンド演奏
- 19:15～ 城東龍の舞
- 19:30～ 福引大会

福引賞品

- ★特別賞
商品券(2万円)2本
- ★金 賞
商品券(1万円)6本
- ★銀 賞
クオカード(3千円)24本
- ★銅 賞
図書カード(500円)140本
子供向け100本
- ★一般賞



龍の住むまち

龍はどこから来たのか

平松西自治会長 飯島 二郎

私達の城東地区には夏の納涼祭に登場する赤と白の二頭の龍がいます。地区体育協会のみなさんが、毎回その龍の舞を担ってくれています。歴史を重ねることで、納涼祭には欠かすことができない大切なものになりました。

龍が城東地区に誕生した経緯は前の城東だよりに書きましたので、ここでは何故龍なのかを考えてみましょう。

後漢時代(一世紀)に仏教の伝来と共に、インドから中国に伝えられた聖獣のナーガ(蛇)がその後、中国で龍の姿に変化したと考えられています。

日本でも「古事記」や「日本書紀」に龍が記述されています。ここには龍は神聖なものとして描かれ、神話や伝説の中でも重要な存在でした。神武天皇が龍から誕生したという記述まであります。その他にも古代から龍神の伝説はたくさんあります。

インドの「ナーガ」も、中国の「龍」も水の神とされていますが、日本では自然信仰の水神や蛇神と結びついて龍神信仰が生まれ、雨を降らし、稲など五穀豊穡をもたらす神になりました。

川や池、沼に生息し、五行説の本火土金水の、青、赤、黄、白、黒に関係した五色の龍がいます。城東龍は赤(火)と白(金)です。また仏教では八大龍王が存在します。

五行説は地球上に存在するすべての生物(万物)が、この五つの元素で成り立っており互いに影響を与えあいながら変化し、また循環しているという思想で、日本の文化、行事に深く影響を与えてきました。現代でも「陰陽」や「九星気学」に活用されています。

縁あって城東地区に生まれた龍を地区全体で守りながら、このまちの文化を育てていきたいと考え、城東龍保存会をつくりました。

「倉田様」
と呼ばれハツとしたあの一瞬を思い出



(つづく)

あの夜、一つの布団に寝た女、肌の触れるのを恐れ背中向きに寝たが、あの子の衣服から出ている肌はきれいであつた。背中に感じる柔らかさも残っている。

宇都宮について三日目、小堀様に案内されてここに足を止め、ここが大きな拠点になると決めたところであり、思案を巡らすとき美しい日光の山々を見、男体・女峰と教えられ、女峰の名を聞いたときすぐにタキを思い出したのである。



作 くまくら けい

連載 第二十四回
「腰抱稲荷の由来」

あのときは、タキの顔は浮かんでこなかったが、今あのを思い出した。この地に立っていると、はつきりとタキの顔が浮かび、タキの肌が感じられる。タキの匂いも……

夢から覚めたときのように、目を開いた。人の蹲っている気配を感じた。継之助はそのとき、タキが「倉田様」と呼んだような気がした。走り寄って提灯をかざした。髪は長くおなごだ。抱き起こし提灯の灯をかざして見れば、「タキ、タキどうした。」

頭を膝の上に乗せ、頬を叩いた。タキはうつすらと笑ったように思えたが、体は冷たかった。継之助はタキの胸に手を当て心音を探った。膨らみのある胸は温かいよう思われたが、既にこの世の人の温もりではなかった。どうしてここに……どうしてこのような姿になったのか、また、俺がこの場所にどうしているのかと、自分の膝を叩いた。



城東地区自治会の役員の方々の協力をいただき、会を創設して十余年が経ちました。城東地区住民の健康寿命を延ばす、健康を維持し増進することを目的に活動しています。参加しやすいするために、現在は週三回設定しています。

愛好会 月曜日 十時～
クラブ 木曜日 十時～
同好会 土曜日 二時～
活動しやすい曜日を選んで参加します。二時間、城東コミュニティセンターの二階会議室で活動しています。参加者は合わせて三十五名です。



文責 大山紀子

中国の音楽に合わせて、準備運動、基本練習と初歩的な動きを繰り返し、さらに二十四式という動きを練習します。ゆるやかな動きと姿勢と呼吸の仕方を続けていくと、心と体が軽やかになります。週一回の活動ですが、体がしゃんと楽しくなってきました。年齢に関係なく、運動が苦手という方にも無理のない運動です。活動の合間には、指導者の小泉先生半上野先生のユーモアあふれるお話に参加者同士もいろいろ話がはずみます。健康増進・維持が目的ですが、この仲間たちとの交流も日々の暮らしに潤いを与えてくれます。

城東地区太極拳の活動

自治会だより(第八回) パトロールとふれあいクラブの紹介

宇大西自治会 会長 滝 博行

毎月隔週で行っているパトロール目的は「地域の目が有る事を示す事」です。やる事は、最初にラジオ体操、次は三班に分れて自治会内其々のコースをパトロール。最後に情報交換(時事情報、連絡事項・時々其々の自己開示)毎回同行頂く警察所長からの注意喚起情報を頂く。

主旨は、八年前の八月に数件の空巣被害が発生してしまった事から防災に意識の高い有志が集い安全パトロールを行いながら、防犯・防災・健康維持・見守り活動へとコミュニケーションを基本に繋げる事です。



毎月隔週で行っている「ふれあいクラブ」一九八三年平松自治会から分離して宇大西自治会が誕生して四二年。熟年層が多くなった自治会「話す機会が少なく、認知症に成る確率が高い」と云う事で「ある場所に行けば誰かが居て、話が出来て、体を動かし楽しめる」その様な場所と機会を創って行きたい、要望と必要性から「ふれあいクラブ」と命名して活動を始めて今年で十年目と成ります。六月には「フレイル予防の為に健康講座第四弾」テーマは「バランス運動で転倒防止」の特別講座を実施。三十名を超える参加者で盛況でした。又五月に宇大西パターゴルフ、夏祭りは、七月に、秋には防災訓練を繰り返し感性を高めています。ホームページでご確認下さい。



龍の橋



金堀橋



宿郷

城東地区には「高橋川」「奈坪川」「谷田川」の3本の川が流れています。このうち高橋川には関東バス本社前信号の所に「宿郷橋」があります。奈坪川にはベルヴィの脇に「権現橋」、123号線を越え4号線コスモスのそばに「龍の橋」があります。また、谷田川には砂田街道と4号線の交差点近くに「金堀橋」があります。それぞれの川の欄干には、龍や鯉・白鷺などが色鮮やかに装飾されています。

ベルヴィ脇の看板「城東龍の由来」によると1998年10月以降に整備されたようです。洪水から救ってくれた龍に感謝し城東龍をつくり城東つ子が厳しいことつらいことに耐えて、たくましく心優しい社会人になってほしいと願い、地区の平和と繁栄を祈って毎年龍の舞を舞うことにしたそうです。

城東 龍の橋

新任者紹介

城東小学校 副校長

飯村 まさえ



☆趣味
お気に入りの曲を
聴きながら
ジョギングすること
☆モットー
人の言葉 心
笑顔のおかげで
今がある

城東いきいきサロン近況

社会福祉協議会

五月九日(金) サロン活動の一環として二十一名の参加者で、井頭公園へレク

リエーションを兼ね散策に出かけました。園内の花の開花は少しだけでした



が、頑張り張った歩いた後のランチと楽しいおしゃべりに花が咲きました。

第一週



岩本友子さんによる健康づくりや介護予防に繋がる脳トレや体操など笑いを交えた独演会に楽しいひと時を過ごさせて頂きました。

又、二週目には八巻さんご夫妻を含む「うたごえサロン」のメンバー四名による演奏会が開かれました。ウクレレ、ギター、ピアノによる演奏で参加者全員が懐かしい曲の合唱を楽しむ事ができ、有意義なサロンになりました。

城東いきいきサロンは毎月第一、第二、第三金曜日午後時半から城東コミセンで開催しています。体操やゲーム、お茶会など誰もが参加できる住民の交流の場です。一度のぞいて見てはいかがでしょうか。

表彰おめでとう (令和7年度)

令和7年2月14日 交通安全功勞

宇都宮東交通安全協会

城東支部女性部会 会長 島崎由美子

バレーボール大会 城東地区体育協会

令和七年六月一日第四十九回地区バレーボール大会が、改修工事を終了し明るくなった城東小体育館で開催されました。七チームの選手が激戦が繰り広げられ、決勝戦では平松西Aチームが築五東チームに勝利し、頂点に立ちました。



優勝 平松西Aチーム



準優勝 築瀬五丁目東チーム

3位：築9 4位：築7 5位：宇大西
6位：平松西B 7位：宿5

令和七年度後期行事予定

月	日	行事
8	2(土)	ふるさと宮まつり参加
8	23(土)	第32回城東納涼フェスティバル
9	14	地区敬老会
10	5	地区体育祭
10	25、26	第43回城東文化祭
11	2	地区ソフトボール大会
1	10	新年顔合わせ

編集後記

城東龍が納涼フェスティバルに登場したのは1990年第2回のことでした。早いもので35年、今の龍は3代目になります。これからも祭りを盛り上げていくて欲しいと思います。

「ミセン」からのお知らせ

令和七年二月より臼井邦子さんが、地域事務職員として勤務しています。